

令和 6 年度

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	カンガルー療育支援室横浜北部ステーション		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2024年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39 (家庭数38)	(回答者数) 34
○従業者評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の満足度が高い	日々、子どもたちの健康状態・目標・成長について職員間での共通理解を図り、充実した支援ができるように心がけている  支援プログラムに基づいた日々の支援が充実するように、研鑽、話し合いを重ねている	保護者からの信頼を維持・高めていけるように、また、重心の子どもたちにふさわしい支援ができるように、必要時、個別性を高めた支援の提供を考えていく
2	子どもの健康や発達について、支援者と家庭間で共通理解ができています	送迎時や面談時に子どもの様子を丁寧に伝えている  面談時の評価表をわかりやすくしている	子どもの健康状態や状況、保護者のニーズをさらに丁寧に聞き取る  連絡帳・送迎時・個別面談時に子どもの様子を丁寧に伝え、内容を他職員に周知、共通理解を図る
3	子どものことを十分に理解し、特性に応じた専門性のある支援が提供されている	外部研修に参加、内部研修の場を設け、重度の障害を持つお子さんの理解を深める機会を重ねている	外部研修に参加する機会を増やす 内部研修もさらに充実させる

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援が弱い(ペアレントトレーニングやきょうだい支援の場が設けられていない)	保護者の参観、参加の機会が少なかった	保護者や、きょうだい児の参加できるイベント・参観などの機会を増やす  家族間で問題を抱え込まないように、また、多方面から情報収集できるように必要時に親同士がつながれる場所を提供していく
2	地域における交流や、他の子どもと活動する機会が少ない	物理的に出かける機会を設けるのが難しい	子育て支援施設、公共施設などに出かける機会を増やす
3			